

令和3年度 第4回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

1 開催日時 令和4年2月21日(月) 午前10時～午前11時30分

開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室

2 出席者

(1) 推進市民会議委員 15名

(欠席：4名 [水野委員、平坂委員、梅田委員、関委員])

(2) 事務局 入江部長、伊藤課長、岡田係長、丹羽主事、石川主事補

(3) 傍聴者 なし

3 会議資料

会議次第

資料 1 「みんなで育てる地域の手引き」の利活用促進等に関する
取組状況

資料 2 小牧市地域協議会推進市民会議 活動等のまとめ

4 会議内容

1. 会長あいさつ

2. 手引きの利活用促進等に関する取組み(資料1)

3. 活動等のまとめ(資料2)

4. その他

【事務局】

皆さん、おはようございます。

ただいまより令和3年度第4回小牧市地域協議会推進市民会議を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

会に先立ちまして、皆さまにご報告をさせていただきます。

当会議は小牧市地域協議会推進市民会議設置要綱第5条第3項に基づき、会議は公開することとされており、

なお、本日の傍聴者はありません。

また、本日は水野委員、平坂委員、梅田委員、関委員から欠席のご連絡をいただいております。

ご承知の通り、現在、愛知県内に「まん延防止等重点措置」が適用されております。

措置の内容に則り、会場の定員は50%以下となっていることをご報告させていただきます。

それでは次第にそって進めてまいります。

市民憲章につきましては、感染防止の観点から、わたくしが読み上げますので、心の中でご唱和をお願いします。

〔小牧市民憲章 唱和〕

ありがとうございました。

それでは議事に入りたいと思います。

次第の1「会長あいさつ」としまして、加藤会長からごあいさつをお願いいたします。

【加藤会長】

皆さん、改めましておはようございます。

なかなか世の中の状況が落ち着かないですが、こうやって皆さんと第4回推進市民会議が開けることを嬉しく思います。

今日、議題が2つあるので、皆さんと有意義な時間となるように頑張りたいと思います。

ご協力よろしくをお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからの進行は加藤会長にお願いしたいと思います。

加藤会長、よろしくお願いします。

【加藤会長】

では皆さん、お手元の資料の2番から行きましょう。

「手引きの利活用促進等に関する取組み」ということで、資料1を見ながら、事務局の方から説明をお願いします。

[事務局より資料1に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございます。

網掛けのところのアルファベットは、前回のグループワークで各グループから出された意見に対して事務局が答えて下さったものなので、皆さんの意見を踏まえて、事務局さんの方で、取組み、PRをしていることが見てとれるかなと思います。

今のご説明に対して、ご質問、ご意見、アドバイスのある方はいらっしゃいますでしょうか。

【山田委員】

資料をいただいて、私はその資料のQRコードから手引きを見させていただいたのですが、他の人はどのようにしてQRコードを知ることができるのですか。

【事務局】

手引きのデータに関しましては三角POPにQRコードを付けさせていただいておりますので、こちらをスマートフォン等で読み取っていただくと、手引きにたどり着けるようになっております。

しかし、それができないと、インターネット等で検索していただく必要があります。

市のHPの新着にもあがっていましたが、段々埋もれていってしまいます

ので、紹介の仕方を考えていきたいと思います。

概要版等ができましたら、それにもQRコードを載せて、手引きのデータを見ることができるようにはしていきたいと思います。

【安藤 和憲委員】

手引きについてですが、市の広報に絶対に入れたほうがいいと思います。

【事務局】

3月15日号の広報こまきに載せる準備をしていますので、ここにもQRコードを載せておきます。

【水原委員】

必ずしもスマートフォンでQRコードを読み取れる人が多いかという、そうとも言えない時代で、まだまだ高齢者の方は使い慣れていないものですから、まずは広報こまきの絆や地域協議会の役員さんに尋ねるなど、QRコードでない方法で手引きに繋がるようにし、最終的にはQRコードでやっていくというやり方の方がいいと思います。

【事務局】

ありがとうございます。

今回3月15日号に出すのがQRコードと手引書ができましたという内容でして、概要までは踏み込めていない状況ですので、4月以降の広報で折をみて、紙面の都合がつくところで紹介していきたいと思っています。

3月15日号の方には、検索で出てきやすいキーワードのようなものを入れておこうと思います。

【加藤会長】

他にアドバイス等ある方いらっしゃいますでしょうか。

安藤委員、お願いします。

【安藤 智人委員】

市役所の1階のデジタルディスプレイにはこの動画を出していないのですか。

【事務局】

現在庁内での放映はしていません。

今後、掲載できるように調整していきたいと思います。

【稲垣委員】

1月に地域協議会の代表者を集めて説明会が行われましたが、その時の皆様方のご意見等ありましたら聞かせていただきたいです。

【事務局】

皆様興味を持っていただいて、助かるというようなことを言っておられました。

ただ、会議の中では概要しか説明できなかったものですから、各地域協議会で読み込んでいただいて、またご意見が出てくるかと思います。

来年度以降の代表者会議などの場でご意見を吸い上げさせていただいて、来年度の推進市民会議で新しい委員の皆さんと検討していきたいと考えております。

【山田委員】

たまたま昨日テレビを見てまして、小牧市の子ども政策のCMが地上波で流れていたんです。

小牧市は子どもに優しい市なんだということを改めて知って、すごいなと思いましたが、これはシティプロモーション課のものだけが流れているんですか。

また、テレビのCMで手引きについて流すことは予定していますか。

【事務局】

今流れているのはブランドムービーというもので、こども夢・チャレンジNo.1宣言の関係で作っております。

今回第2弾で作ったのがテレビCMで流れることは聞いているのですが、如何せん予算などを考えるとテレビCMまではというところもございまして、そのあたりはまた検討させていただければと思っております。

【落合委員】

地域協議会を立ち上げて5年ぐらいになるんですが、なかなか地域協議会の認知が進まないと感じています。

市でそのあたりの調査はされていますか。

【加藤会長】

認知度がどれだけ上がったか、どれだけ知られているかということですね。

では事務局、よろしくをお願いします。

【事務局】

小牧市の方で市民意識調査というアンケート調査を毎年実施しております、毎年数値としては向上しております。

最初の方は13%ほどだったのが今は25%ぐらいまでには上昇しております。

しかし、仰るとおりまだまだ4分の1ぐらいに留まっております。

【大杉委員】

今の話と関連したことですが、次のアクションとして、各小学校区の中で地域協議会から各区へどう発展させるか、どうやって地域協議会自らが自分の区の中で動くかという小さなプランを作っていただけるといいと思います。

【事務局】

その辺のツールとしまして、先ほどの動画や概要版などをいろいろ作ってサポートができればと思っております。

【加藤会長】

ありがとうございます。

とってもいい案だと思います。

なかなか媒体だけ作っても、区に行って人と接しないと、聞いてもらえないです。

両方やると良いと思います。

他に何かありますか。

鈴木委員、お願いします。

【鈴木委員】

市の総合防災訓練を毎年やっていますが、昨年度までは地域協議会という言葉すらも防災訓練の中では聞かれなかった。

今年、次年度の計画をする段階で、各小学校区の代表者と市で統一して訓練を繋げようという動きがありまして、その時にやっと地域協議会主体でやりましょうというスタイルに変わったんですね。

市が地域協議会を認めて、この団体で動かそうという動きが出てきたことが私としては一番嬉しかったです。

やっと市が地域協議会を認めたんだなという雰囲気できてきたんですね。

そうした動きがもっと市の中で広まれば、いろいろな宣伝するよりもっと早く広まるんです。

市が地域協議会と自分たちで協働していくんだという感覚を広げてほしいと思います。

【事務局】

ありがとうございます。

地域協議会と行政との協働というのは大前提であり、ご提案のように、防災の分野だけに関わらず、いろんなところで手を取り合って活動していくことができたらなと思っております。

【加藤会長】

庁舎内での認知度も上げて、地域協議会との関係がうまくできるといいと思います。

特定の課だけが関わっているということがないようにしたいです。

他にはありますか。

小柳委員、お願いします。

【小柳副会長】

私は桃ヶ丘小学校区の地域協議会の活動を中心にやっているんですけど、発足してまだ時間が経っていません。

1年目は皆さんのいろいろなことを参考にしながら、多くの人を集めて行事ができたんですけど、残念なことに去年と今年はコロナの関係でどうしても中止せざるを得なかったんですね。

しかし、そうはいつでも個々に気づいたことについては、協議会の中で議論しながら一つ一つ、学校関係のお手伝いも含めてやらせていただいているんです。

コロナについても収束がまだはっきりしないものですから、来年度の計画も基本的なものは個々で小さな目標を設けていこうかなと思っております。

毎月1回役員会をやっているんですけど、その中でも3月15日だけではなくて、15日の広報こまきに絆というものがよく出ていますので、あれを中心にして、情報を交換し合うということもやっております。

地域協議会の手引きを参考にしながら、先程の内容も含めて地域の特色を活かしながらやるという方向で行きたいと思っておりますので、手引きを非常に大事にしたいと思います。

【鳥居委員】

今回、ITがすごく進んでいるんですけど、逆に水原さんが言ったようにほとんどの方はITに慣れていないんですよ。

ずっと見てますと、一番の広報はロコミなんです。

ロコミ力を高めることが大事だということは地域協議会のメンバーがこの手引きをしっかりと理解して、最低でも概要版ぐらいは関わっている委員さんには渡して、理解をして地域協議会のことを広めていただく、つまり地域協議会のメンバーにお披露目隊の一員になっていただくことが大事だと思います。

ロコミで広げていくことを積極的にした方がいいと思いますので、概要版を配布するときは地域協議会の皆さんに配布できるようにしていただければありがたいと思います。

【加藤会長】

良い提案だと思います。

大杉委員も言われたように、人が人につなぐというのが最大の、しかも全部市役所がやるんじゃないなくて、地域協議会の人たちが自ら動いたり、委員さんがその気になったりすると、一番熱意が伝わると思うので、役所の中もそうですけど、地域の中もそうなるようになればいいなと思います。

では、この手引きの利活用促進等はこんな感じで大丈夫でしょうか。

もし思い出して言いたいことがあったら、その他のところでまた設けますので、3番の「活動等のまとめ」について、資料2を見ながら事務局から説明をお願いします。

[事務局より資料2に基づき説明]

【加藤会長】

ありがとうございました。

推進市民会議の活動とそれぞれの地域協議会の設立状況について両方説明していただきました。

では、今の報告についてご質問やご意見、ご感想がある方はいらっしゃいますでしょうか。

鳥居委員、お願いします。

【鳥居委員】

2点ありまして、1点目が拠点整備の推進と学校との連携ということで、体育館以外に一時的に教育や生涯学習の部屋を避難スペースとして活用するとなっているんですが、もう一つ依頼したことがあって、それが校庭の活用についてです。

車の出入りがある時や、テントを張りたいという方が出たときに校庭はすごく機能するんですけど、校庭は学校の管轄なんですね。

それが入っていないので、本来これについてきちんと協定を組んで、使えるかどうかははっきりさせておかないとすごく困るんです。

ぜひ、校庭の活用について確認していただきたいなということです。

もう一点目は、2番目のICTの活用についてはすごくいいことだと思います。

ただ、できる方とできない方の割合で見ると、できない方の割合が高く、進めるのであれば、地域協議会を進める職員の方でICTを利用した時のサポートをしていただくということと、そのために私たちも知らなければいけないと思うので、学習会を地域協議会で行えるようにしていただけるといいと思います。

今携帯電話がスマートフォンになってきていて、LINEなどが使えるようになってきているので、学べばみんな理解できるようになってきているんです。

だから、そういったことを増やすと、作っていただいたものを活かせると思いますので、ぜひそれはよろしく願いいたします。

あと、今の話と関連した話ですが、ICTを使うときのSNSのマナーに今すごく問題が起きているんです。

写真を撮るのは良いんですけど、嫌がられる方もいますので、事前に確認した上で、撮影するなどのSNSのマナーを載せていただくとありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【加藤会長】

ありがとうございます。

大きく二つでしたね、一つ目は学校の校庭が使えるようにという話、もう一つはICTを進めるならサポートや勉強会をしてほしいという話でした。他に何か意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

小柳委員、お願いします。

【小柳副会長】

来年度からは防災訓練は総合防災訓練と同時にやりなさいということですが、地域でやるってことになる校庭を使わざるを得ないと思うんですね。

来年度の計画を作る上でその辺について、役所の関連する部署の考え方はどうなっているかを早めに教えていただくと、地域で態勢を整えることができると思います。

【大杉委員】

桃ヶ丘小学校区の凶上訓練の折に私から鳥居さんが言ったことと同じ意見を言ったところ、市役所の方からそう簡単な話ではないと言われたんですね。

そのことを責めているわけではなく、私が言いたいことは前年の防災訓練は感染症が発生している時期での避難はどうあるべきかということで、基本的な避難所の運営マニュアルに+αしたものを我々は学んだわけです。

ところが、体育館の中だけでは導線を変えようが、その部屋だけで隔離することが全くできないんです。

従って、そのマニュアルを作るのであれば、隔離できるような方法を入れないと使えないと思うわけです。

小学校や中学校の体育館を避難所として使う上では必ず大きな問題になりますので、協働推進課の皆さんや地域協議会の皆さんにはそういうことを知っておいてほしいですし、地域協議会の各地域にはそういう声を挙げていただきたいと思います。

【水原委員】

避難スペースの問題で、市が難しいという話をしていましたが、避難スペースとして我々が情報をいただいている書面の中で重要なのが、各学校ごとに何百人収容できるかという欄なんですね。

欄を見てみると、例えば350人収容のところでも、体育館だけで収容していることはなくて、運動場も含めての避難スペースなのかなと私たちは理解しています。

どういう魂胆があってその書面を作成しているかということを調べておかないといけないと思います。

【鳥居委員】

体育館の定員は通常であれば300人なんですが、今新型コロナの関係で80人しか入れないんですよ。

そこを認識しないと、地域住民は受け入れられなくて、たらい回しにされた挙句、疲れ切ってしまうのが現状なんですね。

そこを理解した上で、体育館での避難所はどうあるべきかを検討して、声を挙げていかないといけないと思います。

【水原委員】

あと、設立にまだ至っていない学区に説明会を開催しましたとありますが、どのように説明を行ったのでしょうか。

【加藤会長】

ちょっと待ってください。

前の質問から順番に行きましょう。

さっきの避難の話で校庭を使う使わないの話から整理できている範囲で共有してから次に行きましょう。

では事務局、お願いします。

【事務局】

まず、小柳委員が言われました防災訓練の時にグラウンドが使えるかどうかということにつきましては、事前に防災危機管理課と学校とで調整をされるかと思えます。

今後、訓練の内容を話し合う時に校庭を使った訓練をしたいということ伝えていただければ、学校との調整はできるかと思えます。

実際に災害が起きたときの避難所の校庭の活用ということについて、ここでは何もお答えはできませんが、地域協議会が避難所運営等について検討される際には関係部署と間に入って活動を支援していきたいと考えております。

それとICTの学習に関しましては、今年度行政改革課というところが主催ではあったんですが、地域協議会の役員を対象にしたICTとスマートフォンの勉強会を3回ほど開催させていただきまして、各地域協議会の代表者様にスマートフォンの活用方法を学んでいただきました。

今後、勉強会を地域協議会の方で地域住民に向けて開催という形で繋いでいければなと思っております。

また、写真等は持っていただく必要はあるんですが、撮っていただいた写真を繋げて動画にするといったことは今後も続けていくことで支援していきたいと思っております。

村中小学校区と米野、小牧南の区長への説明の内容についてですが、基本的には地域協議会を設立する趣旨、メリット、こういった活動がされているのかということの説明させていただいております。

また、村中小学校区につきましては地域ミーティングを開催しまして、地域の特色、こういった強みがあって、こういった課題があるのか、あるいは課題を解決するために自分たちで何ができるのか、地域で協働して何ができるのか、市役所と連携してどういうことができるのかということをご皆さんに考えていただいて、そういったことを地域協議会としてやっていくのであればこういう支援ができますよというご提案をさせていただいております。

【水原委員】

地域によっては区長のご理解がいただけないと、進められないところもあり、そうした地域ではどうしても区長に役員になっていただく必要が出てくる、そういうことを押し付けているとなかなか設立が難しいというのがあります。

実は私たちも経験しました。

ですから、区長の任期が1年単位だと、私はもういいから来年やってという感じで全然進まないんですね。

私たちの例は区長にはご理解をいただいて、回覧を配ったり、こういうことをやっていますというPRをお願いしたりしています。

その代わりに区長は毎回会議に来てもらわなくてもいいという仕組みにしたところ、やりましょうという風になっていったんですね。

ですから、地区によっては何でもかんでも区長に入っていただかないと駄目だとか何かの役をやらしてもらわないといかんとかそういう前提に囚われるとなかなか進まないという例もありますので、その辺も参考にしたらいいと思います。

【事務局】

ありがとうございます。

各地区ごとにいろいろな進め方があると思いますので、仰っていただいた事例も紹介しながら、地域にとって一番いいやり方で地域協議会を設立していければなと思っています。

【安藤 和憲委員】

今北外山区の役員をやっているんですが、1600世帯あるんですね。

かなり中心的な関わりをしないと、多分南小の地域協議会はなかなかできないと思います。

役員と区長の規約改正をして、区長が4人の合計5人体制で役員が回っているんですね。

そうすると、区長はやはり忙しいから、地域協議会に入っていくと、なかなか他のことができない。

でも、副区長が1人補佐をしているので、その人が入っていけば、十分戦力になってくれると思うので、タイミングとしては今だと思います。

副区長辺りを上手に巻き込んでいけば、区も巻き込んでやれるので、意外に早く進むんじゃないかなと思います。

【事務局】

具体的なアドバイスありがとうございます。

後程安藤委員からよく話を聞かせていただいて、その時にはまた安藤委員にもお力添えをいただけるとありがたいと思います。

【吉田委員】

村中小学校区、小牧南小学校区、米野小学校区の設立のきっかけを作っていたというのですが、実は何を言おうとしているのかというと、

北里というところは小学校が4つに分かれていて、小牧南小学校もあるし、小木小学校もあるけど、小牧南小学校区もあちこちの区が集まるということで、当初非常に小牧南小学校について意見がよく言われたんですが、実質的には設立していないということで、北里小学校でも、常普請とか郷中の地区が小牧南小学校に行っているんです。

なぜかというと、北里小学校区で今やっているのが、福祉部会で一人暮らしの高齢者への花鉢の贈呈なのですが、民生委員でいうと、管轄外の人もいるんですね。

やっぱり一緒にやりたいなという意識はあるんですね。

その影響は非常に難しいものですから、その辺を円滑に小学校が協力体

制を作ってほしいと思っているんですけど、民生委員さんが誰も地域協議会に入っていないという状況なんですね。

北里小学校区の活動を見てますと、いいな、私もやりたいなという声が非常に聞こえてきますので、その辺を何とかシフト主義でなく、何かやれないかなといつも岡田係長と相談しながらやっております。

あと3校ということでもうちょっとで先が見えてきたので、全体のことを言わないといけません。

小牧市の小学校区ということでグローバルな考えではありますが、そのことを踏まえて円滑に設立していただければと思っております。

【加藤会長】

ありがとうございました。

1個だけスマホとICTの勉強の話でいうと、さっき大杉委員が言われた市役所の職員が主催してやる勉強会はやっぱり限界があるんですよ。

どの役員にも教えるって難しいんですよ。

私に関わっている町でいうと、地域協議会ではないんですけど、住民の方ですごく上手な方がいるんですよ。

若い方がシニアの方のスマホサロンを月1ぐらいでやっておられて、このところがよくわからんとか言って持ってきて、そこがもうサロンみたいになって、スマホの使い方も教えてくれるし、それを機に悩み事を相談し合ったりする場所などを設けているんですよ。

それはまさに地域協議会が主催するエリアごとの勉強会を小さな単位でやっていく方が実際には効率的だと思うんですよ。

元々、地域協議会を作るメリットとして、小さな単位で身近なところで、小さな支え合いの機会と設けるというのがあったと思います。

かといって勝手にやって下さいといわれるとできないから、一番最初にそういう指導者を育てるみたいなことは市役所がやった方がいいと思うんですけど、全部市役所がやれと言われてもできないので、以上参考までにそういう事例もありますよということで。

【水原委員】

今高齢者向けのサロンって言われてますけど、青年向けのサロンの場もあると集まりやすいです。

会館を開放するなどして、若手のサロンを作ることに改革の余地はありますよね。

【加藤会長】

さっきのでいうと、教えてくれるスマホの先生は地元の若い人なんですよ。

だからおじいちゃんからとても感謝されるんですよ。

その人たちがその時期に役員をやるようになったから、ますます感謝するようになって、若い人も自分が必要とされているという感覚を得るようになっていったんですね。

そのようにICTが苦手な世代の方が若い人を巻き込んでいかれると、次の世代のなり手がなかなかいないと思うので、上手にくすぶりながら巻き込んでいかれると、続いていくし次の世代にバトンタッチできるかもしれないので、いいきっかけになるかなと思います。

【大杉委員】

私のNPO法人の中に非常に年齢は上ですけどITに強い人がいるんですよ。

ラポールではそういう人が分からない人に教えてあげているんですね。

今そういうことを4～5人がやっていて、教えてくれているメンバーはうちの小学校区のメンバーです。

若い人も大事です。

やってくれると将来が繋がりますので。

でも今の現役で70～80代の人ですけど、気前よくやってくれて、その人たちがすごく楽しんでいるということがありますので、おそらく見つけられます。

その方がいくらメールでHPから取った資料を送ってもみんな同じように操作できないから目の前でやってほしいという最大のニーズに繋がると思います。

【加藤会長】

ありがとうございます。

では、今の議題について他に言いたいことがある方は後でマイクを回します。活動の報告については共有できたということで。

この推進市民会議は別に何も下打ち合わせもしていないのに、これだけのいろんなご意見が出て、とても有意義な会だと思っているんです。

一応期限として2年間やってきて、せっかくなので2年間を通じて、どんなささいなことでもいいですので、ご自分が感じたことや今後やっていきたいことを分かち合って、今日はおしまいにしようかなと思っています。

私の隣の安藤委員から順番にマイクを回したいと思うので、一際大きな拍手をお願いします。

【安藤 智人委員】

児童館の中には母親クラブというのがありまして、お母さんたちが自主的に地域の子どもたちのために何かやりましょうという組織があるんですね。

しかし、なかなか本当の地域づくり活動にはなっていないという状態が続いていましたので、ぜひ地域協議会の皆さんが入っていただいたり、逆にお母さんたちが地域の方に手伝いにいけるような活動になっていくと本当の意味で母親クラブになっていきますし、地域の子どもたちや地域のためになる活動が今後できていくんじゃないかなということを皆さんの話を聞いて思ったので、地域づくり活動のための母親クラブとなるよう改革に取り組んでいかないといけないなということはずごく実感したところです。

あと児童館は子どもたちがたくさん来るところなので、本当はそういったことは職員だけだと賄いきれないものがありますので、地域の皆さんの協力があって初めて成り立つところがありますので、ぜひ今後も地域の皆さんに入っていただければと思っています。

地域の皆さんに開かれた児童館にするためにも今回のマニュアルの活用は急がれているなということを実感しています。

今後とも皆さんのお力添えをいただけたらと思いますし、逆に皆さんのお力になれるように地域の方に出ていかなければいけないなとも思いました。

皆さんどうもありがとうございました。

【山田委員】

私が今入っておりますのは地域福祉課というところです。

地域の福祉支援のために働く部署で二つあって、私はボランティアセン

ターの方なのですが、地域福祉課がやっているのはサロン、子ども食堂、それから地域協議会にもお邪魔しているところですので、社協でお力添えできるところがありましたら、ぜひ言っていただきたいと思います。

また災害が小牧に起きた時には、災害ボランティアセンターというものを社協が中心となって行いますので、ここにいる半分くらいの皆さんは関わっていますので、そういう意味でも何かご協力できるところがありましたら言っていただければと思います。

ICTについてもボランティアを中心に最近、LINEの講習会を行っており、非常にたくさんの方がお見えになっていますので、そのことも含めてぜひ言っていただければと思います。

ありがとうございました。

【吉田委員】

私は民生・児童委員の代表を務めさせていただいております。

協議会設立当初は「地元のこと地元で」という考え方が設立のきっかけになった大事な考え方であったんです。

設立について色々な意見がありましたが、そういうことに関しては、住民も地域もみんな認識しているんです。

だんだん少子高齢化や人生100年時代ということが現実になってきていますが、そういう課題にどう対応するかということも地域協議会に求められてくると思います。

ささやかではありますが、私も小学校区で協議会メンバーとして協力させていただいておりますので、大変な時代ですがコロナがいつ収束するかという見通しができない中でもまずは地域協議会の皆さんが動くということが大事だと思います。

そのためにも各地区の民生委員とぜひ協働してもらいたいです。

民生委員には地域協議会に協力して、メンバーに入るように言っております。

最後に、皆様のご協力にお礼申し上げます。

ありがとうございます。

【稲垣委員】

私は社会福祉協議会におります稲垣と申します。

地域協議会につきましては、吉田委員から話がありましたが、立ち上げの時からいろいろ協力しました。

その当時の小牧南小学校と米野小学校はふらっとみなみの会が同じような動きをしていて、一緒に2つまとめて地域協議会に入れたらどうかという意見もあったのですが、今日まで残っているということは地元の理解が得られていないのかなと思っています。

市長から「地域協議会を作りたい」という話が出た当時は、地域活動と言えば区が中心で、まだまだ小学校区での活動というイメージが湧きにくかったんです。

また、地域協議会がやろうとしている行事と区がやっている行事の内容が似通っていることから「小学校区でやる必要があるのか」という考えも中にはあったように思います。

小学校単位での活動となれば、今までにない広範囲で人と人との交流ができるということです。

これからの少子高齢化、高齢者の過疎化という社会に対し、地域協議会を立ち上げて、区よりも広い交流が図れば良いという思いで、引き続き大城小学校区地域協議会の活動に協力していければと思っています。

以上です。

【鈴木委員】

小木小学校区地域協議会の鈴木と申します。

よろしく申し上げます。

先程から吉田委員のご指摘もありましたけど、設立当時から一応民生委員の方にはご参加いただくということで了解は得たんですが、色々あったようで残念ながら参加していただけなくなったということがありました。

現在もご参加いただけていないのですが、私の方としては個人的には繋がりを取ってしまして、意見交換をさせてもらっています。

次年度にできれば、防災訓練などでも民生委員にはお世話になりたいと思いますので、その時はよろしく申し上げます。

小木としてはコロナの関係で活動があまりできていないですが、本年度改めて皆さんからの意見をまとめながら、真似をしながら進めていきたい

など考えております。

よろしく申し上げます。

【鳥居委員】

私は小牧防災リーダー会の担当として、今回参加させていただきました鳥居 由香里といたします。

小牧防災リーダー会は小牧市内で防災の契約をしている団体です。

今回、地域協議会の防災に関してということと、地域協議会がなぜ設立されたのかということ、一つは避難所運営があったということで本庄の地域協議会に関わらせていただきました。

いろんな区が一緒になって避難所運営をするという時に、地域協議会は理にかなっているなということで、災害時には地域協議会は要になります。

そのためには日頃から意思疎通をしっかりとしていかななくてはいけないということで、とても良い役割を持っていると思いますので、今後も防災に関して要になれるように、何かあったらサポートしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

また、私は小牧市民活動ネットワークの副代表をしておりますので、ワクティブとしても、先程言ったICTに関する事務サポートをやり始めましたので、何かありましたらそちらのサポートに関してはワクティブでも行います。

もう一つ、LINEとZoomを誰でも分かるような簡単なマニュアルのリーフレットを作っております。

ワクティブでも学習会をしますけど、それを使って地域でやっていただいていると思いますので、その折にはワクティブをよろしくお願いいたします。

以上です。

【水原委員】

本庄小学校区地域協議会の水原と申します。

2年間の任期でしたけど、私は仕事がありまして、来れる回数が少なかったことについては申し訳ありませんでした。

書面や会議録をずっと見てましたけど、皆さんは私が考えている世界よりもはるか遠い、手が届かないような知能や知識持っていますので、大変

勉強になりました。

私は4年間協議会にいまして、来年度からまた2年間協議会の方で活躍すると思いますので、皆さんとまたこういった情報を取り入れながら進めたいと思います。

協議会について簡単に報告・紹介します。

私はあまり押し付けたりはしないんですね。

その代わりに、委員の方はどんどん下から押し上げていきます。

鳥居さんも防災の方でやってくれています。

そういう感じで私は上からは絶対言いません。

やってみなさい、駄目なら駄目でいいじゃないか、戻ってから考えましょうという感じでやっています。

事務局に1つお願いなんですけど、来年度の会議は今と同じような会議になると思うんですが、私たちの会議も机を使っておりません。

椅子をばらまいて、間隔を置いて、バインダーを使うんですよ。

バインダーを手元に置いて、筆記するんです。

非常にあれ便利なんですね。

それをみんなに配っておいて、使ってください。

これを提案したいと思います。

【安藤 和憲委員】

青少年健全育成の立場で参加をさせていただいておりますが、私は地域の中で子どもたちを育てる、地域が子どもたちを育てるというポリシーがあります。

その中で、地域協議会が市内16校、全ての小学校区で立ち上がることを願ってこの会に参加をさせていただきました。

それと共に、私は応時中学校の健全育成とコミュニティスクール、学校運営協議会の会長をさせていただいておりますが、学校から地域へ発信していく立場で、地域協議会は地域の学校に入ってもらい、そういう双方からの学校への関わり方ができないかということで、実は次年度、応時中学校で応中支援ボランティアを立ち上げたいと思っております。

これは学校運営協議会から地域の皆さんに戦力になって下さいと発信をします。

それぞれの得意分野があると思いますので、その分野について、応時中

学校に力を貸してほしいということです。

しかし、残念ながら米野小学校と小牧南小学校は共に地域協議会がなく、孤立している状態ですので、地域の力をぜひとも借りたいなということで、地域協議会が立ち上がるとボランティアも相互効果でたくさんの参加が得られるということを願っています。

この会を来年度は全小学校区に広めていくための力となっただけのとありがたいと思っています。

もう1つ、マニュアルの形ができあがりました。

活用されないという意味がないと思いますので、これからはいかに地域に利用されるかということと共にマニュアル作りに加藤会長の巧みな進行によって、私たちは自由にものが言えます。

その中で形を成して、このようなPRの形をいくつか例示をしてもらいました。

そうすると、私たちの意見が反映されたという一つの達成感ができてきます。

これにまた形を成して正解に繋がると、やる気はこういうところから出てくるのかなと思っています。

コロナ禍にあって、私は一番充実した組織だと思っています。

褒め言葉でも何でもありません。

中身が充実した会議に参加ができて大変ありがたいと思っています。

【新家委員】

小学校、中学校の校長会の代表をさせていただきました。

皆さんの意見を聞いていく中でいろんな形のもものが提案されて、それが具体化して形になっていく様を目の当たりにして、我々は学校という中にずっといて、他のいろんな組織との関わりが閉ざされている面がありますが、新たな視点で見せていただくことでより良い経験をさせていただいたと思っています。

先程の話にもありましたけど、学校と地域、それからコミュニティスクールということで、地域との関わりの中でしかありえないということでもっと進めていると思っているんですけど、まだまだ壁があるなということで、特に災害のことで非常に重要視しているんですけど、まだまだ学校が不自由なところが多いです。

そののところを来年度どういった形で関わるか分からないんですけど、少なくとも自分の学校の中でそういった関わりを思い返しながらか進めていきたいと思っております。

本当に感謝しています。

皆さんありがとうございました。

【落合委員】

私は大城小学校区地域協議会の落合です。

先程も言われたように、やっぱり認知しないと活動も発展しないと思います。

さっきの口コミ、ITを使って認知度を上げて、活動する仲間を増やして発展していきたいなと思っております。

以上です。

【小柳副会長】

桃ヶ丘小学校区地域協議会の会長として皆さんにも協力いただいて、現在細々と頑張っているというところです。

桃ヶ丘小学校区は桃花台の中にあります。

桃花台は高齢化率が非常に高くなっておりまして、そういう意味からすると、若年層がどんどん減っており、学校の生徒も減っている状況です。

今は残念ながら300人を切るという状況も出てきているんですよ。

そういう意味で、小学校区で関係していることと区別をして考えなければいけないんですけども、小学校の関係につきましては隣が中学校ですので、今多文化共生を入れていこうかと思っておりますので、今年は外国籍の中学生の方と懇談会をさせていただきました。

いろいろな考えが出ました。

要望も出ました。

要望が出たものについて、その場で答えを言うことができないものについては、準備して全部回答をしました。

学校の周りが暗いということで、照明を4個設置する予定です。

まだ設置していませんけど、照明はもう既に準備してありますので、もうすぐ明るくなる予定です。

そういうことをフィードバックしていかないといけないと思っております。

す。

桃花台は4つ小学校があるんですけど、他の小学校区と協力していこうと思います。

まだこれから考えなければならないもあります。

来年度の事業計画を考えていますけれども、3月6日に役員会があつて、14日に役所から担当の方に来ていただいて進めていきます。

いろいろとこれからもお世話になりますけど、まだしばらくは小学校区の会長をやろうと思っています。

よろしくお願いします。

【舟橋委員】

10年ぐらい前ですが、小牧市議会の報告会に参加した時に小牧市で地域協議会の構想があることを聞きまして、それがどのように実現していくかと、その頃から関心がありました。

最初は、小牧市には地区社協がないものですから、その代わりになるものなのかと思ったり、コミュニティスクールの発展型的なものかなと、いろいろな思いを描きながら期待していたわけです。

だけど、これがなかなか立ち上がらず、この推進市民会議の前身の市民会議の時に度々傍聴したものでした。

その後、推進市民会議になって、加藤会長のリードや推進課、地域パートナーの尽力あつてのことだと思うのですが、次々に地域協議会の設立があり、残すところ3つの小学校区だけになって、すごいなと思っております。

私が推進市民会議に参加して、手引き作りに関わらせていただいたわけですが、その過程で環境について提案して、それが受け入れられたことを嬉しく思っています。

公募委員としてこれで最後になりますが、いい体験をさせていただいたと思っております。

あと3つの小学校区で早く設立されればいいなと思っております。

ありがとうございました。

【大杉委員】

私は高齢者や障害のある方の中で、自分では移動するのが難しい方に対して送迎や付き添いをさせていただきNPO法人生活支援サービス ラポールから参加をさせていただいております。

小牧市東部振興構想(案)ということで、HPの方でパブリックコメントを求められておりまして、私も提案をさせていただきました。

構想のいくつかの分野がある中で、都市システム、スマート都市ということで、現在小牧市は他市に勝る巡回バスに費用をかけていただいて、いろいろと工夫していただいておりますが、そういう構想がある中で、どんなに大きな枠組みで取り入れても、絶対に隙間はあって、全てが賄えるわけではありません。

私どものNPO法人は送迎などに関して、何か担えるかもわかりませんので、関わっていきたいと思いますという提案をさせていただきました。

私は現在区長をやっているわけですが、区の自治会活動で新しく地域協議会、桃ヶ丘小学校区では小柳会長を中心にやっていただいているわけですが、この組み合わせもそれぞれの活動が $1 + 1 = 2$ になるような、あるいはそれ以上になるようなことをどうやっていけばいいのかなという思い、熱意をいかにみんなに共有するかが大事だと思います。

どこで関われるか分かりませんが、今回委員を務めさせていただきましたことについて、恩返しのような形で何かに関わっていきたいと思っております。

以上です。

【加藤会長】

ありがとうございます。

最後に伊藤委員と一緒にこの会議に関わってきて、総括も含めてまとめのコメントをいただきたいと思います。

では、大きな拍手をお願いします。

【伊藤委員】

まず、3月に市民の方が多く来られる役所の窓口全てに三角POPを置いていただきたいという要望が1つあります。

それと繋がって、広報の「絆」のコーナーは認知されてきているのかな

と思うんですが、絆と地域協議会が繋がらないですし、地域協議会の手引きのタイトルが「みんなで育てる地域の手引き」なんですが、それとも繋がらないと意味がないです。

従って、この3つを繋げる手立てを何とか持っていただきたいです。

その1つがQRコードだと思うんですが、地域協議会の手引きと絆と地域協議会が3つ繋がらないといけないので、この3つを繋げる手立てを考えていただきたいです。

もう1つは地域協議会の手引きの概要版を書く時に、単なる概要にしないようにしてほしいです。

絆は写真などが入っていて、誰が何をしているのかが分かる人には分かるのですが、概要版でもそのように出してほしいんです。

なぜかという、私もダイジェストを書く仕事をしているので分かるんですが、全体のことを平べったく伝えると入ってこないんです。

でも、ロコミだと入ってきて、親近感が湧いてきて見るんです。

ですから、そういうコメントやケースを入れた上で配布してほしいです。

個別の問題ということに対して、地元のことは地元でというのがスタンズなんです。

だから、個別のケースを盛り込んだ概要版を作って欲しいですし、それが伝わらないと意味がない、それがまず1つです。

あくまでも個別のニーズなんですよ。

その個別のニーズに地域で何とかしようよということが出てくるんです。

さっきスマホの話がありましたが、リーフレットをお孫さんに見てもらって、どうすればいいかこれで教えてという風にすると、ご高齢の方もできるようになります。

意外と今のおじいちゃんおばあちゃんはお孫さんに聞けないんですね。

ですから、おじいちゃんおばあちゃんの方からリーフレットを持って聞くようになると思います。

要するに何が言いたいかというと、私たちは新しいものを作っているわけでは無いんです。

人々の中で助け合っているものを少しでも個人単位で、家族単位でできなくなっていることが増えてきていて、区でも難しいとなっているから地域協議会を作っているわけで、やっぱりそこには個のニーズは入ってこないと地域協議会って何だとか上から降ってきた組織ってなっちゃうから、

これでは本末転倒だと思っているわけです。

私も含めてですけど、ここで発言したことが上手いこと会長の進行により入れていただいて、やっけて良かっただと思えます。

これって既存のそれぞれが誰かのニーズにんえたい、んえることで生きがいかやりがいか居場所っていうのを見つけれられるということに繋がっているわけですから、それを地域協議会という単位で解決の道筋を立てていける、だからあるものを上手く含めていくための場所として、地域協議会を行政がサポートする形を今回作っただわけなので、そこは個のニーズを吸い上げ、そこを何とか助けられるよという人が生きがいかやりがいになって、お互いが居場所として小牧にいて良かっただと思えるようになるようなところにしていただければなっと思っているので、ぜひ個のところにもう一回立ち返るということをお願いいただけると嬉しいなっと思っています。

良いんですよね、やってみようで。

何度でもやり直せば良いんですから。

残り3つのところにも別に新しいことをするんじゃないよという、ただそれをこれまで上手く継続させていったりだとか、拡充させていったりするためにも、あるものをより良くしていくだとか、まだ私たちが拾い上げていない声があるかもしれないので、そののためにあるので、そういう話をしていただけると小牧全体に広がっていくというお願いをして、私の話とさせていただけます。

ありがとうございます。

【加藤会長】

ありがとうございます。

私もこの会議をすごく楽しみにしていました。

ちょうど土曜日にある市で、現在区でやっていることが立ち行かない、このままでは役員のみ手もないし、考えなければいけない、考えたいという町があっ、そこで講演というか、ワークショップがあっただんです。

そこで、小牧の事例を説明したところ、小牧ってとてもすごいですねって、小牧をお手本にして、自分たちも新しいものではなくて、今やっていることをもっといい形で繋げていけたり、このまま行くと繋げていけないかもしれないから、今ならみんなで話し合っ、次の一歩が踏み出せると

いうことで話があったんです。

小牧市のHPを調べてみますとのことだったので、QRコードを配っておけば良かったと思っています。

多分これからヒット数が上がると思いますので、見ておいて下さい。

私もここですごく学ばせてもらって、皆さんには褒めていただきましたけど、本当にここにいる皆さんの一人一人の経験、知見がこうやって集まったことで形になりました。

また市も要望に対して、真摯に応じてくれましたので、それも誇りに思ってくれて良いと思います。

私は拙い会長でしたが、どうも皆さんお付き合いいただきありがとうございました。

【事務局】

加藤会長、ありがとうございました。

最後にその他としまして、健康生きがい支え合い推進部長の入江から一言ごあいさつさせていただきます。

【入江部長】

皆さん、改めましてこんにちは。

本日は長時間に渡りまして、様々なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。

今年度4回目、最後の会議ということで皆さんが作成していただきました手引きの啓発活動に関する報告と手引きの作成をはじめ、皆さまとの活動の成果などについて振り返っていただきました。

この2年間は新型コロナウイルスの影響により、地域協議会をはじめ、多くの地域活動団体が満足な活動ができなくて、苦しまれていたのを目の当たりにいたしましたところであります。

ともすれば「この状況で協議会活動の推進など不可能では」といったご意見をいただいても仕方がない状況にあって、資料にございましたように、活動拠点の整備や学校の避難所機能の強化、Webの利用促進、そして地域協議会の手引きの作成など、地域協議会活動の更なる推進につなげることができたのは、ひとえに皆様方の熱意と情熱があったからだと思っております。

皆様の任期は、今回の会議で終了ということになりますが、今後も引き続き、この推進市民会議を中心に、まだ設立されていない学区の地域協議会の設立推進や、現在活動しております地域協議会全体の活性化に向けた取組みについて、検討を進めてまいりたいと考えております。

またよろしく申し上げます。

また、来年度からの委員の就任につきましては、継続してお願いする方には別途個別で調整をさせていただきたいと思っております。

2年間、推進市民会議の委員として様々な面でご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

皆様のご協力に感謝と敬意を表しまして、簡単ではありますが私からのあいさつとさせていただきます。

2年間どうもありがとうございました。

【事務局】

本当に皆さんどうもありがとうございました。

これを持ちまして、令和3年度第4回地域協議会推進市民会議を終了させていただきます。

2年間、毎回とても充実した会議でした。

私もとても勉強になりました。

本当にどうも皆様ありがとうございました。